

# 幼児教育の充実

## 子ども一人一人の健全な心身の基礎を培う幼児教育

うつくしまっ子 幼児教育振興ビジョン  
つながる幼児教育の推進

## 生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育

### 健康

- ・ 体を十分に動かす遊びの工夫
- ・ 楽しく食べるための雰囲気づくり
- ・ 安全に生活できる施設・設備の工夫

### 人間関係

- ・ 自分の力で行動する遊びの設定
- ・ 身近な人との関わりを深める教師の関わり

### 環境

- ・ 身近な環境に関わる機会 の充実
- ・ 物の性質や数量、文字などに興味をもたせる場の設定

### 言葉

- ・ 自分の気持ちを言葉で表現させる教師の関わり
- ・ 想像する楽しさを味わわせる読み聞かせ等の充実

### 表現

- ・ 豊かな感性を養う直接的な体験の充実
- ・ 感じたこと、考えたことを様々な方法で表す遊びの充実

子ども一人一人が輝く温かい学級集団づくり ～集団活動の充実～

## 1 発達の時期にふさわしい指導計画の作成

- ◎ **長期的・短期的な見通しをもった指導の計画**
  - ・ 園の実態や子ども一人一人の発達の実情を踏まえ、**長期的・短期的な見通し**をもった指導計画を作成する。
- ◎ **各年齢の目指す子どもの姿の設定**
  - ・ 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を基にした**各年齢の子ども**の姿を設定することにより、ねらい、指導、評価の整合性を図った指導計画を作成する。
- **子どもの意識や興味**の連続のある活動の設定
  - ・ 子どもの実態及び子どもを取り巻く状況の変化に即して、指導の過程を工夫する。特に、短期的な指導計画においては、子どもの**意識や興味**の連続性のある活動を設定する。

## 2 主体的・対話的で深い学びを実現する保育の展開

- 多様な体験ができる教材の工夫
  - ・ 子どもの発達の実情や興味・関心等を踏まえながら、**多様な体験ができる教材**を工夫したり、環境を構成したりする。
- ◎ **試行錯誤や考える過程の重視**
  - ・ 遊びを通して**試行錯誤したり、考えたりする過程**を十分に受け止め、子どもが身近な環境に主体的に関わるようにする。また、遊びが連続・発展する教師の関わりを工夫する。
- 人との関わりが深まる活動の充実
  - ・ **集団生活**の中で、子ども同士や身近な人との**関わりが深まる活動**を充実させる。

## 3 よさや可能性に目を向けた評価の工夫・活用

- 幼児理解に基づく子どもの実態把握
  - ・ 指導の過程を振り返りながら幼児理解を進め、子ども一人一人の**よさや可能性**を把握し、指導の改善に生かす。
- ◎ **見取りに基づく情報交換や意見交換**
  - ・ 保育を通して見取った子ども一人一人の状況を、「目指す子どもの姿」に照らして教師相互に**情報交換・意見交換**し、**次の指導の改善**を図る。

※は参考文献等

### 各年齢の目指す子どもの姿の設定（例）

- 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」(※)を基にした各年齢における目指す子どもの姿を設定し、計画に基づく子どもの姿を視点として日々の指導の改善を図る。

例 「健康な心と体」における子どもの姿の設定

(自園の子どもの実態に即して下線を検討し、4歳児及び3歳児の目指す姿を設定)

5歳児 幼稚園（保育所の）生活の中で、**充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出す。**

4歳児 幼稚園（保育所の）生活の中で、**充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせて行動し、自ら健康で安全に生活する。**

3歳児 幼稚園（保育所の）生活の中で、自分のやりたいことを体を十分に働かせて行い、**健康で安全に生活する。**

※ 幼稚園教育要領（平成29年3月 文部科学省） 保育所保育指針（平成29年3月 厚生労働省） 幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月 内閣府 文部科学省 厚生労働省）

